

### 一般質問 議:議員/理:理事者

- 体育館へのスマートロックの導入について
- 親なき後の障がい者支援について

その他の質問

- ・ 避難行動要支援者登録制度の救急での活用について
- ・ インクルーシブ遊具の設置について
- ・ 今冬の着雪害について



公明党 安岡孝一議員



**議** 施設の利便性の向上やセキュリティの強化、管理業務の効率化あるいは避難所開設の観点から、体育館施設へのスマートロックの導入について市の所見を伺う。

**理** 令和6年度より林業者健康トレーニングセンター及び勝山市庭球場に導入しており、利便性向上や利用者増の効果が出ている。小中学校体育館は地域の方々の定期的な利用実態を考慮し、令和8年9月からキーボックスと防犯カメラによる管理を予定している。

災害時は避難所の安全確認が必要なため、地震発生から概ね3時間を目途に職員により開設したいと考えている。

体育館施設へのスマートロックの今後の導入については、通信料や停電・通信障害時の対応等の課題もあり、キーボックス方式と併用しながら研究していく。



スマートロック

**議** 障がいのある方が、親なき後においても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる支援体制の強化について、市の所見を伺う。

**理** 本市が令和7年9月に策定した第6次障がい者福祉計画では、基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の早期整備と円滑な運営を進めるとしている。相談支援専門員への助言、事例検討を通じ困難事例を一事業所で抱え込まない体制や、緊急時の受入れや短期入所、体験機会の確保など、複数の支援体制を地域の事業所が連携して担い、地域全体で支える体制を構築する。

さらに重層的支援体制整備事業を、分野横断的に支援をつなぐ仕組みとして整備を図っていく。

障がいのある方が親なき後においても住み慣れた勝山市で安心して暮らし続けられるよう、着実に体制整備を進めていく。

### 一般質問 議:議員/理:理事者

- 衆院選結果と高市首相の「国論を二分する課題」発言について
- 上水道30%値上げ、下水道14%値上げという答申について

その他の質問

- ・ 温泉センター水芭蕉と近隣ホテル計画と勝山市の役割について
- ・ 生涯学習センター友楽喜を、体育館を除き4月に市民会館等に移動する計画について



日本共産党 山田安信議員



**議** アメリカのベネズエラ侵略とマドゥロ大統領拉致、アメリカとイスラエルのイラン先制攻撃、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ地区侵略、全て国際法違反だ。世界を「無法者が軍事力支配する社会」にして良いのか。

選挙での「外国人排除」の差別的主張に対する見解を問う。

高市首相の国論を二分する課題とは、憲法9条改憲、非核三原則を守らない、武器輸出、スパイ防止法など「戦争する国づくり」であり、この政策に賛同するのか。

**理** 平和を願い、争いで人命が失われることがあってはならないと思っている。選挙での外国人排除という差別にも絶対に反対する。しかしながら国際関係への対応については国の役割であると考えている。憲法改正や安全保障も国家の根幹に関わり国会で議論されるべき事項であり、賛否を述べる立場にないが、恒久平和の精神は尊重されるべきであり、外交と対話による解決が最も大切と考えている。

**議** 過疎指定での国の支援に準拠して一般会計でも支援すべき。

浄土寺川ダムの上水道負担金が8億円なのに、取水実績はゼロ。リゾートエリア浄水場施設には17億円かかったが開発者負担は4億円。リゾート事業者が開発者負担を請求し、一般会計で一時負担なら値上げは抑えられる。

**理** 過疎地域である本市では、過疎債など有利な財源を最大限活用し、建設改良事業を行っている。今後も補助金の確保や経費削減に努め、使用者負担の軽減に取り組むとともに、国に対しさらなる支援策を求めていく。浄土寺川ダムは市の水道の水源確保のために整備したもので水道事業の実質負担額は約3億4,000万円となっており、法恩寺リゾート開発事業とは別事業。法恩寺浄水場については法恩寺リゾート開発株式会社が4億6,730万円の整備費を負担しており、処理水はリゾートの他市街地にも供給され、市の貴重な水源となっている。